

副作用確認表

症状		Grade1	Grade2	Grade3
1	悪心	吐き気はあるが、 食事の量や内容は変わらない	吐き気があり、 飲水や食事が減っている	吐き気があり、 飲水や食事摂取が全くできない
2	嘔吐	嘔吐はあるが、治療は必要ない	嘔吐があり、 外来での点滴などの治療が必要	嘔吐があり、 入院での栄養管理が必要
3	便秘	時々下剤を使用する	定期的の下剤を使用する	定期的に下剤を使用しても 排便がない
4	下痢	治療前より1日に1～3回増えた	治療前より1日に4～6回増えた	治療前より1日に7回以上増えた
5	口腔粘膜炎	症状がないまたは軽い痛みであり、 治療は必要ない	食事内容の変更が必要な程度の痛みがある	食事摂取ができない程の強い痛みがある
6	食欲不振	食欲は低下したが、 食事の量や内容は変わらない	食事の量や内容は変わったが 体重はあまり変わらない	栄養が十分に摂れず、 著明な体重減少がある
7	味覚異常	味覚の変化はあるが、 食事量や内容は変わらない	味覚の変化により 食事量や内容に変化がある	—
8	末梢神経障害	違和感があるが、 生活には支障がない	ビリビリ感、痛み、感覚の鈍さはある が、 身の回りのことはできる	身の回りのことができない
9	筋肉痛	少し痛みがある	痛みはあるが、 身の回りのことはできる	身の回りのことができない
10	疼痛	少し痛みがある	痛みはあるが、 身の回りのことはできる	身の回りのことができない
11	爪囲炎	痛みはないが、爪の両側の皮膚部分のむくみや赤みがある	痛みはあるが、 身の回りのことはできる	身の回りのことができない
12	皮疹	二キビや吹き出物、平坦な発疹や隆起した発疹がある(体表面積の<10%)	二キビや吹き出物、平坦な発疹や隆起した発疹があるが(体表面積の10%以上、軽度の症状の有無は問わない) 身の回りのことはできる	二キビや吹き出物、平坦な発疹や隆起した発疹があり(体表面積の>30%)、症状が中等度以上であり、 身の回りのことができない
13	手足症候群	痛みはない皮膚の変化 (手・足の裏の赤み、硬い)	痛みを伴う皮膚の変化があるが(水疱、亀裂、出血、腫れ)、身の回りのことはできる	身の回りのことができない
14	浮腫	軽度のむくみがある	むくみがあるが、身の回りのことはできる	身の回りのことができない
15	動悸	少しドキドキするが、 治療は必要ない	強いドキドキ感があり、 治療が必要	—
16	高血圧	120-139/80-89mmHg	140-159/90-99 mmHg	160/100mmHg以上
17	鼻出血	鼻血は出るが、治療は必要ない	なかなか鼻血が止まらず、鼻タンポン、 焼灼術、外用血管収縮薬などの治療が必要	輸血や出血部位の止血等の治療が必要
18	倦怠感	だるい、元気がない	だるいが身の回りのことはできる	だるくて身の回りのことができない
19	呼吸困難	動いたときに息切れがある	軽めの動きで息切れがあるが、 身の回りのことはできる	安静時の息切れがあり、 身の回りのことができない
20	咳嗽	少し咳があり、市販の医薬品を使用する	咳があるが、身の回りのことはできる	身の回りのことができない
21	眼障害	少し症状(流涙・かすみ・炎症)があり、 治療は必要ない	症状(流涙・かすみ・炎症)があり、視力の低下はあるが、身の回りのことはできる	顕著な視力の低下があり、身の回りのことができない
	口内乾燥	口内が乾燥しているが、 食事の量や内容は変わらない	口内が乾燥し、水分の少ない食べ物が 食べづらい	十分な食事摂取ができない
	認知障害	物忘れや気分の落ち込みが少しあるが、 日常生活には影響がない	物忘れや気分の落ち込みがあり、日常生活に 影響があるが、自分で生活できる	物忘れや気分の落ち込みがひどく、自分で生活できない
	運動失調	少しふらつきや、手足の動きのぎこちなさがあるが、 治療は必要ない	ふらつきや手足の動きのぎこちなさがあるが、 身の回りのことはできる	身の回りのことができない

(CTCAE Ver.5.0に基づく副作用評価)